

Ⅱ. 学校独自質問項目について

<児童>

●学校行事について

学校行事（遠足、社会見学、運動会など）が「楽しい」と答えた児童が9割以上いました。感染症対策を講じ、内容や形態を変えながらの実施となりましたが、多くの児童が学校行事に向けて自分の目標や課題を意識して取り組むことができたと考えます。

●学習について

英語

低学年では、英語を使った歌やゲームを通して、正しい発音を聞き取ったり声に出したりする活動に取り組んでいます。高学年では、昨年度より英語科が本格実施され、「読む」「書く」の技能習得が必要となりました。「英語について好きですか」「英語活動についてわかりますか」の低・高学年の数値が中学年に比べて低いのは、低学年では聞き馴染みのない英語の発音に、高学年では英語を「読む」「書く」ことに難しさを感じている児童がいるためと考えます。「外国の人と英語を使って話せるようになりたいですか」の項目では肯定的な回答が8割以上ありました。英語でコミュニケーションをとりたいという子供たちの意欲を持続させながら、各学年での活動に児童が進んで取り組めるように指導の工夫をしていきます。

算数

低学年8割以上、中・高学年9割以上の児童が「わかる」と回答しています。これは、TTや少人数指導による、児童一人ひとりへのきめ細かな指導の成果であると考えます。一方、どの学年も「わかる」に対しての「好き」の肯定的回答が低い数値となっています。低学年からの学習の積み上げを大切にしながら、興味関心を持って児童が自ら進んで課題に取り組む中で、さらに理解が深まるよう指導の工夫をしていきます。

国語

「わかる」と回答した児童は、低・中学年8割以上、高学年9割以上でした。学習の定着を実感している一方、「好き」と回答した児童は、「わかる」と回答した児童に比べ少ないです。児童が意欲的に学習に取り組めるよう、興味関心がもてる必要感のある課題設定や教材の工夫に努めます。また、授業の振り返りの中で、自身の学習の成果を確かめる場を設定し、達成感や学習の有用性を実感できる授業を進めていきます。

●生活のきまりについて

「チャイムを守る」「掃除をしっかりとる」などについては9割以上の児童が「できている」と答えています。掃除の時間になると教室や廊下などの掃除を一生懸命頑張っています。今年度2学期よりペア学年での掃除を開始し、異学年で教え合いながら進んで清掃活動に取り組んでいます。

また、あいさつについては、約9割の児童ができていると答えています。委員会活動の中でのあいさつ運動や日々の教員からの働きかけ、学級での取り組みも行っています。ご家庭でもあいさつの奨励をお願いします。

●その他

・「人の話を聞いて、自分の意見や考えを持つことができる」の項目については、約9割の児童が肯定的な回答をしています。また、「自分で考えて行動できる」の項目については、8割以上の児童が肯定的に回答しています。今後も、児童一人ひとりが友達と協力しながら、自ら進んで学び、考えて行動できる機会や場を授業や特別活動の中で設定していきます。

・「先生は自分のよいところや頑張らなくてはいけないところを伝えてくれますか」「先生は勉強をわかりやすく教えてください」「先生はいじめや困ったことがあったときに話を聞いてくれますか」という項目に対しては、約9割の児童が肯定的に回答しています。概ねほとんどの児童が教職員を信頼し、安心して学校生活を送っていると考えます。しかし、否定的に回答している児童をしっかりと見取っていくためにも、児童の実態を常に把握し全教職員で共有した上で、児童一人ひとりの思いを大切にされた学級づくりや学習指導の充実を図っていきます。本校では、朝の打ち合わせや教室巡回を通して、全教職員が全児童の把握に努めることを年間通じて行っています。

・学校でのことを家庭で話している児童は、7割から8割という結果となっています。ご家庭で学校での様子を聞いてあげることで児童の意欲は高まり、宿題や持ち物への声かけをしてあげることで生活習慣について意識できるようになります。今後も学校での様子などについてご家庭で聞く機会をつくって下さい。

<保護者>

●学校の情報公開（お便り、ホームページ）について

学校だよりや学年だより、ホームページなどで教育方針をわかりやすく伝えていると思いますか」の問いに9割以上の肯定的回答がありました。今後も学校だよりや・学年・学級だよりなどの通信や学校のホームページを通して、学校の取組をお知らせしてまいります。また、ホームページにおいて、行事トピックス（校長ブログ）を日々更新し、学校生活や子ども達の様子、感染症対策の取組等を掲載していますので合わせてご覧ください。

●新型コロナウイルスへの対応について

9割以上の方が肯定的な回答を述べています。校内では「マスクの着用」・「手洗いの励行」・「教室の換気」・「給食は黙食」などの基本的な感染症対策が習慣化しています。また、今年度は、感染症対策を講じながら実施形態を工夫し、昨年度より多くの行事を実施することができました。今後も児童の健康・安全を第一に考え、必要な感染症対策を講じながら、可能な限り教育活動を進めていきます。

●緊急事態への対応について

9割以上の方から「対応している」との回答をいただきました。今年度は、児童と共に不審者や地震による災害からの避難訓練を実施すると共に、吹田警察の方にご協力をいただき教職員による不審者対応訓練・研修を実施しました。児童が自らの判断で命を守る行動がとれるように今度も充実を図っていきます。また、災害レベルに応じて児童の引き取りを依頼するメール配信・返信の訓練も行いました。迅速な対応をするためにもご協力よろしくお願いします。

●学校の学習指導や児童対応に関する問いについて

「クラスを分割して」「複数の先生がいっしょに」行う授業体制についての項目では、9割以上の方から「効果がある」との回答をいただきました。また、「子どもが学習内容を理解できるように熱心に指導していると思いますか」の項目に対しても9割以上の肯定的回答でした。今後も、児童一人ひとりの学習に対する理解状況を把握し、学習体制を工夫しながら複数の目で丁寧に指導していきます。

「学校は子どもを理解していると思う」の項目や、「子どもの正しい行動をほめる」「間違った行動を適切に指導する」の項目について、9割以上の方から肯定的回答をいただきました。今後も保護者の方と連携を取りながら、児童の様子や変化をしっかり捉え、個々に応じた声かけや指導を行っていきます。

●施設・設備の整備について

8割以上の方が「整備されている」と述べています。今年度は、理科室・音楽室・家庭科室などの特別教室で、エアコン設置のための空調工事が行われました。今後もよりよい環境を目指して、定期的な安全点検の実施や教育委員会への申請を行い、児童がより安全に過ごせる環境を整備していきます。なお、来年度は、雨漏り防止のための北校舎屋上大規模修繕を行う予定です。

●その他

・「子どもが自主的に活動する場面があると思う」の項目については、9割以上の肯定的回答がありました。今年度は、2学期末に児童会行事「千たけお楽しみ会」を実施しました。各クラスでアイデアを出し合い、準備したお店が運動場いっぱいにかかれ、みんなで楽しむことができました。今後も、感染症対策を十分に講じながら児童が活躍できる場面を作っていきます。

・「子どもは、規律ある教室で安心して授業を受けられている」の項目について、9割以上の方が肯定的回答でした。今後も、学校が児童にとって安心できる場所となるよう、児童同士が互いに思いやり、認め合える関係づくりに努めていきます。

【記述していただいた内容について】

《児童》「学校をよりよくするためにしたほうがいいことがあったら書きましょう」

【友達について】

「人にやさしくする。」「一人一人が思いやりを持てるようにする。」「困っていたら声をかける。」「いじめをしない。」「違う学年ともっと交流してもっと仲がいい学校にしたい。」

【学習面、生活面】

「人の話を目・耳・心で聞く。」「言われる前にちゃんとやる。」「ルールをみんなが守れば気持ちよく過ごせる」 「廊下を走らない。」「自分たちで行動する。」「チャイムを守る。」など

【施設面】

「トイレをきれいにしてほしい。」「教室がもっと広がったらいいのに。」

【あいさつ】

「みんなに笑顔であいさつする。」「自分からあいさつをする。」「進んであいさつをする。」「みんなとあいさつする。」など

【掃除】

「もっとそうじをがんばる。」「ゴミが落ちていたら拾う。」「きれいにそうじをする。」

※全体的に児童自身ができることを考えている意見が多く、自分たちの力で学校生活をより良いものにしていこうとする姿が見られています。児童一人ひとりにとって安心でき、思いを実現できる場所となるよう、よりよい学校づくりに努めていきます。

《保護者》「学校をよりよくするためのご意見、提案があればお書きください。」

今年度は、392名中、53名の方から学校の取組に対するご意見をいただきました。

児童用端末、安全面での対応、教職員の学習指導、子供への関わり方、教職員の協力体制、給食指導、清掃活動、登下校、学校行事、学校と家庭の連携、コロナ対策、施設設備

など、多岐にわたった内容でした。

背中を押していただく声、厳しい声、様々な角度から多くの意見を全教職員で共有しました。一つひとつのお声に直接お返しすることはできませんが、教職員全員で課題解決に向けて子供たちにとってよりよい学校になるよう様々な取組を検討していきたいと思えます。

貴重なご意見ありがとうございました。今後とも本校の教育活動へのご理解ご協力をよろしくお願ひいたします。アンケート時はもとより、日々気になられた時に声を寄せていただければと思ひます。